

県会議員 奥村のり子の
読者ニュース

2016年10月30日 第239号

——奥村のり子生活相談所——

〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11

TEL & FAX 073-427-7121

Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp



沖縄差別暴言を理解できない
担当大臣や大阪府知事

沖縄県高江で米軍オスプレイ着陸帯建設現場で抗議行動の人々を「土人」などと大阪府警の機動隊員2人が差別暴言したのは10月18日。大阪府警は2人を懲戒処分、警察庁長官や沖縄県警本部長、政府の官房長官もそれなりに「極めて遺憾」と述べる中、鶴保庸介沖縄北方相は「我々が『これは人権問題だ』と考えず、県民感情を損ねているかどうかみていく」と人権問題でないとの認識。松井一郎大阪府知事（日本維新の会代表）は、「出張ご苦労様」と暴言警官をかばい批判が集中しています。

沖縄では、19世紀末に「琉球」から日本に合流されて以来、“未開の民族”と蔑視され、第2次大戦時は本土防衛の防波堤として米軍の猛烈な戦火を浴び、戦後は米軍占領を許し日本の米軍基地の74%を集中。そんな沖縄戦や米軍基地の歴史を、未開の地域住民を侮蔑する意味をもつさげすんだ言葉で傷つける差別暴言は日本人なら許せないはず。松井氏は21日のツイッターでテレビ局の放送にかみつき、「極悪知事に仕立て上げたいようですが、全く挫けませんしファイトが湧いてきた」と。日本維新の会沖縄総支部でさえ松井氏に抗議しているようですが当然です。

沖縄のおかげでいる現状や基地問題を毎日・毎週報道するしんぶん「赤旗」をぜひ広めて頂きますようお願いいたします。（編集室）

のり子の週刊日誌—主なもの—

- 10月28日 市駅前・吉宗像前宣伝、産廃調査
- 29日 ウォーキングゼミナー、保険医協会講演会
- 30日 地域訪問、「部落差別」固定化法案学習会（清水ただし議員）
- 31日 地域訪問、医療関係者後援会世話人会議
- 1月1日 休み
- 2日 ウォーキング大会
- 3日

国民年金等改定法案は
高齢者いじめの重大な法案

アベ政権は国民年金等改定法案を衆議院で審議入りさせようとしています。地域訪問や懇談会では必ず年金が少くない、老後が不安という声が聞かれます。先日も一人暮らしの高齢の女性の方から相談を受けました。物価が上がっても賃金が下がれば年金額を引き下げることが盛り込むなど、公的年金に頼る高齢者に痛みを強いる重大な法案です。国民の保険料を原資にして年金積立金の株式運用を拡大し、巨額の赤字を

出しながら国民につけを回すやうな方は許せません。アベ首相は責任を取るべきです。また、年金を減額すると地域経済にも大きなマイナスとなりま

消費が冷え込めば地域の雇用



2015年度決算

10月6日から12日まで、決算特別委員会が行われ、2015年度の決算について審査を行いました。決算審査は、計上した予算が適切に執行されたかをはじめ、事業の内容を見つめ直す機会にもなります。その上で、次の年度の予算編成にどう活かすのかが問われなければなりません。

今回の委員会での審査では、当該年度の決算は、長年指摘されているにも関わらず見直しされていない事業や、つじヶ丘の造成事業の様に失政のツケが市民に回された事により不執行となった事業が見受けられました。そのため日本共産党市会議員団は決算認定

認定に反対した一部を紹介します

に反対しました。以下、指摘した問題点の一部をご紹介します。

旧地域改善事業関連について、多額の費用が使われていますが、ほぼ聖域枠で継続されていると言っても過言ではないと指摘しました。「まだ課題がある」と市は答弁しましたが、漫然と同じ事業を継続してなお改善が見られないのはなぜか、総括がなされていないこと自体が問題です。

国民健康保険特別会計において、当該年度は赤字であり、また保険料が高いという事について認識があるにも関わらず、引き下げが行われていない事を指摘しました。国保は安心して医療を受けるためのものである。被保険者に還元すべきです。

和歌山城周辺に休憩所をつくるポケットパークについて、全額不執行になっており、相手方との交渉が決裂したとのことでしたが、事前の詰りが甘かった事に加え、本来に必要な事業であったのか疑義を抱かざるを得ません。

マイナンバー制度について、多額の費用が使われているものの、個人カードの発行数が少ない。市民にとって制度の必要性が乏しい上、情報漏洩等の不安が払拭できていません。拙速な導入については、慎重な姿勢が求められる事など指摘しました。

党市会議員
中村あさと



リレートーク

Relay talk

Relay talk

リレートーク Relay talk

（奥村のり子）